

春

▶シジュウカラ



▶ヒバリ



▲ムナグロ

熊本の野鳥

私たちの生活の場をとりまく自然環境、とりわけ野鳥に対して、社会一般の関心が高まっています。県では鳥獣保護区の設定、生息調査、鳥獣保護センターの設置等鳥獣愛護思想の高揚と環境の整備を図っています。

野鳥は農林水産業にとって有益な働きをするほか、そのかれんな姿や美しい声は私たちの心を和らげ、生活に潤いや楽しみを与えてくれます。

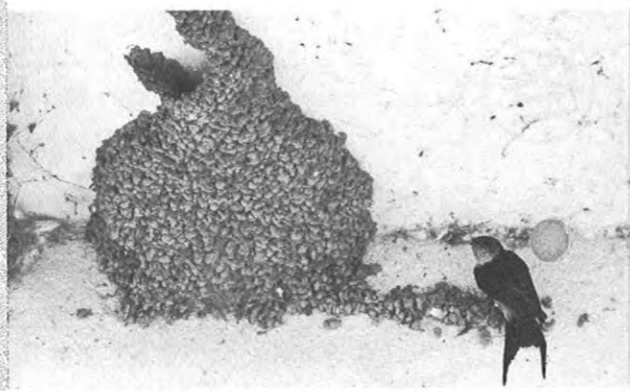
本県には森林、草原、農耕地、干潟が相当な規模で広がっており、この他の環境も含めて野鳥生息の環境が多様であるといえます。日本で観察記録された鳥は490余種、本県では270余種が知られています。(写真提供：熊本野鳥の会)

▼野鳥を観察記録する「熊本野鳥の会」会員たち（八代外港）



夏

▼アオバツク



▲コシアカツバメ（左は同ツバメの大きな巣）



▲ササゴイ